

国際 「中共=中国ではない」

# 日本人男児刺殺 在米華人が駐米中国領事館前で追悼集会



深圳日本男童被刺殺 洛華人中領館前悼念

現場の様子 (NTD新唐人テレビより)

李凌 | 2024/09/24 更新: 2024/09/24

反日プロパガンダ

洗脳

集会

中国領事館

中国南部の広東省深セン市で、日本人学校に通う男子児童（10歳）が、登校中に刃物で刺され死亡した事件を受け、一部の在米華人による「追悼集会」が22日、米ロサンゼルス中国領事館前で開催された。



集会で掲げられた抗議ポスター。(NTD新唐人テレビより)

集会では、華人らは死亡した児童に花を手向け、中国共産党による反日プロパガンダや憎悪教育を糾弾した。



集会参加者による死亡した児童への献花。(NTD新唐人テレビより)

以下にNTD新唐人テレビの取材に応じた一部参加者のコメントを紹介する。

邵琦亮さん (IT起業家)

「私にも2人の子供がいます、あのニュースを知った時はとても悲しい気持ちになりました。中共（中国共産党）による数十年にわたる憎悪に満ちた教育は、一部の中国人を悪魔



に変えてしまった」

彭紅増さん（民主活動家）

「中国共産党は長年、国民に嘘を教え、日本に対する憎悪を煽ってきた。今回の事件の元凶は中共だ」



NTD新唐人テレビの取材に応じる民主活動家の彭紅増さん。（NTD新唐人テレビより）

鄧章さん（元トラック運転手）

「世界の情報や価値観は、中国のファイヤーウォールによって遮断されて、中国本土にいる人たちに届いていません。そうして彼らは独立した思考能力を失い、中国共産党が作り上げた嘘の世界のなかで生きているのです」

「いつか、中国人が真実を知り、本当の歴史を理解し、本当の自由を手に入れることを願っています」と多くの参加者が口をそろえる。



我想告訴日本的領事館 還有一些日本國民們



日本国旗を掲げる集会参加者の華人たち。(NTD新唐人テレビより)

「死亡した児童に哀悼の意を表すとともに、日本領事館に伝えたいことがある」として、集会参加者らは共同書簡を日本領事館に提出する予定だという。

書簡の内容について、イベント責任者でもある米国在住の著名な反中共の人権活動家・界立建氏は、「私たちは、日本領事館と日本国民に伝えたいことがあります、中国共産党は中国を代表していないということを知ってほしい」と訴えた。



活動負責人 界立建

中共不代表中國



人権活動家の界立建氏。(NTD新唐人テレビより)

(界立建氏によるSNS)

(NTD新唐人テレビの報道)



李凌

エポックタイムズ記者。主に中国関連報道を担当。大学では経済学を専攻。カウンセラー育成学校で心理カウンセリングも学んだ。中国の真実の姿を伝えます！